

# 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン

## 2023年度3Q実績（前年同期比）

**売上収益**   
▲93 億円


米国向け四輪車や欧州向け二輪車が増加したものの、新興国向け二輪車や汎用エンジンが減少したことなどにより減収

**事業利益**   
▲217 億円

減収に加え、販売促進費や固定費の増加、米国向け四輪車に係るリコール関連費用※の計上などにより減益

※ オフロード四輪車の一部機種におけるリコールに関し、米国消費者製品安全委員会から制裁金を課す旨の通知を受領したものの

## 2023年度予想（従来予想比）

**売上収益**   
±0 億円

為替が円安で推移した影響等はあるものの、汎用エンジンの減少や北米向け四輪車・PWCの減少により、見通しを据え置き

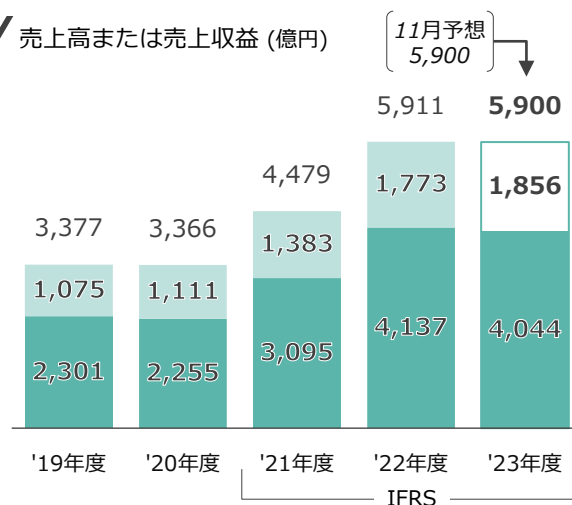
**事業利益**   
▲30 億円

米国向け四輪車に係るリコール関連費用※の計上などにより、見通しを引き下げ

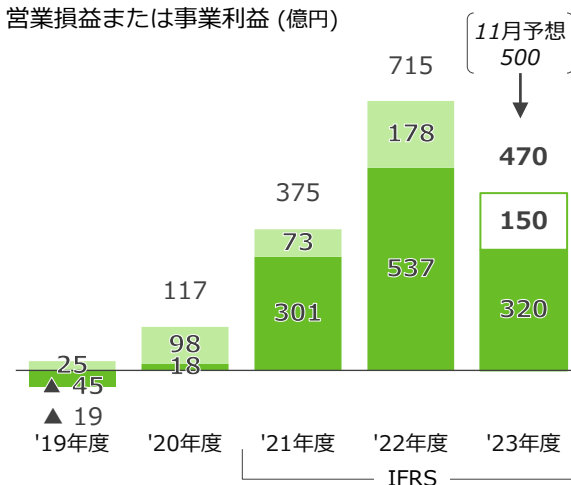
### 受注高（億円）

本セグメントは主として見込み生産を行っていることから、受注高については売上高または売上収益と同額としているため、定性情報およびグラフの掲載を省略しています

### 売上高または売上収益（億円）



### 営業損益または事業利益（億円）



(注) グラフは濃色部が3Q累計、淡色部が4Qを表します

# 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン

(単位：億円)

	'22年度	'23年度		'22年度	'23年度予想					
	3Q実績	3Q実績	前年同期比	通期	従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	4Q予想	
売上収益	4,137	<b>4,044</b>	▲ 93	5,911	5,900	<b>5,900</b>	▲ 11	-	<b>1,856</b>	
うち 先進国二輪車	1,395	<b>1,359</b>	▲ 35	2,112	2,100	<b>2,210</b>	+ 98	+ 110	<b>851</b>	
新興国二輪車	859	<b>737</b>	▲ 121	1,158	1,000	<b>1,050</b>	▲ 108	+ 50	<b>313</b>	
四輪車・PWC	1,128	<b>1,299</b>	+ 171	1,604	1,850	<b>1,790</b>	+ 186	▲ 60	<b>491</b>	
汎用エンジン	754	<b>646</b>	▲ 108	1,035	950	<b>850</b>	▲ 185	▲ 100	<b>204</b>	
事業利益	537	<b>320</b>	▲ 217	715	500	<b>470</b>	▲ 245	▲ 30	<b>150</b>	
	[利益率] [13.0%]	[7.9%]	[▲ 5.0pt]	[12.1%]	[8.5%]	[8.0%]	[▲ 4.1pt]	[▲ 0.4pt]	[8.1%]	

## 補足情報

二輪車国別販売台数（卸売）  
先進国（単位：千台）

	'22年度3Q	'23年度3Q	増減
日本	20	23	+ 3
米国	81	53	▲ 28
カナダ	8	5	▲ 2
欧州	38	42	+ 4
豪州	8	6	▲ 2
先進国計	157	131	▲ 26

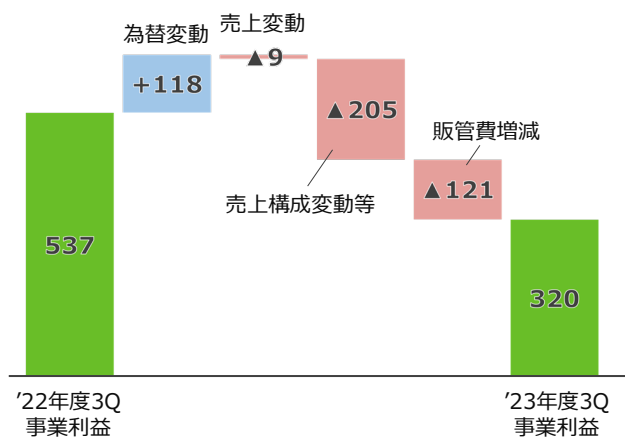
新興国（単位：千台）

	'22年度3Q	'23年度3Q	増減
ブラジル	7	6	▲ 1
タイ	2	1	▲ 0
フィリピン	158	103	▲ 55
インドネシア	33	21	▲ 11
中国	20	16	▲ 3
その他	15	11	▲ 4
新興国計	238	161	▲ 76

四輪車・PWCの販売台数（卸売）は、'22年度3Qは61千台、'23年度3Qは63千台

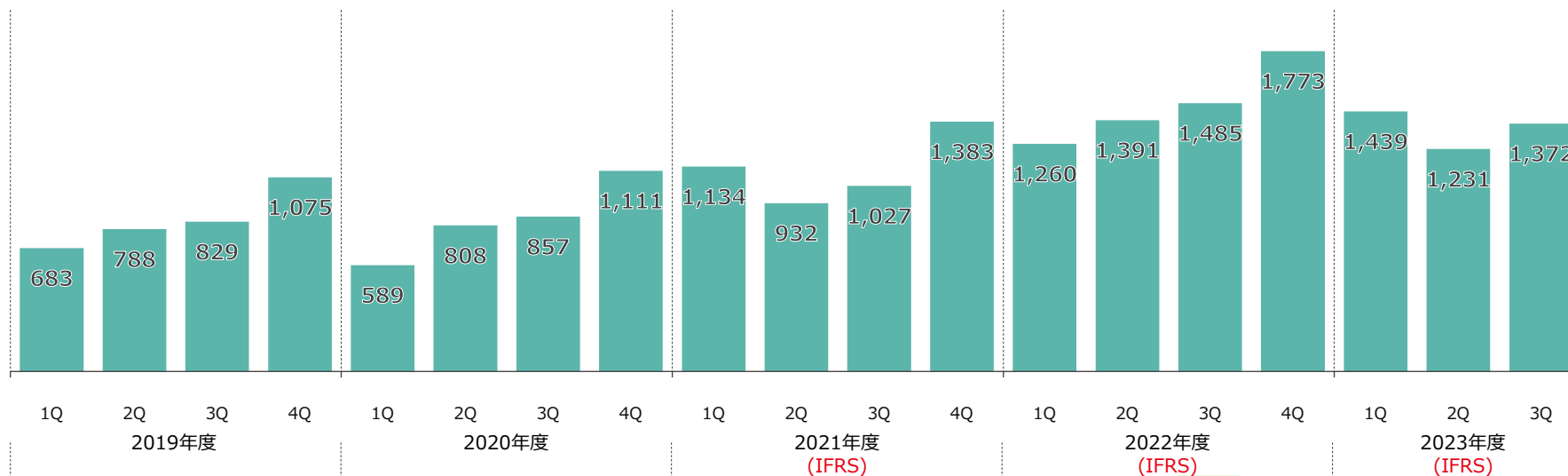
'23年度通期の販売台数計画：先進国二輪 215千台、新興国二輪 245千台、四輪・PWC 90千台

## 事業利益増減要因（億円）

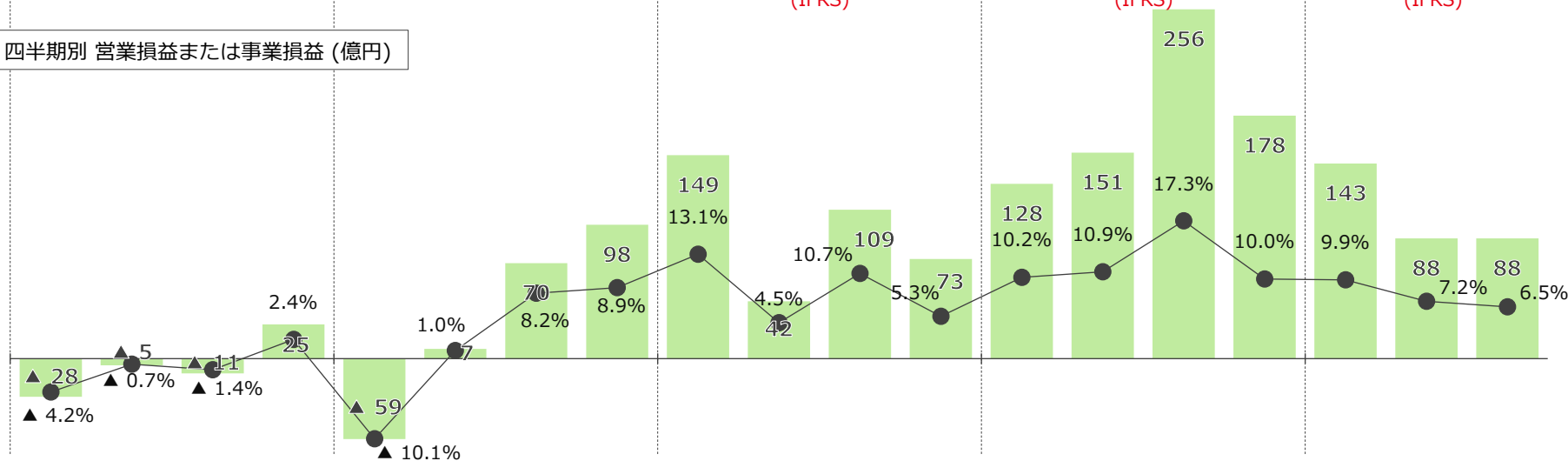


### 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン

四半期別 売上高または売上収益 (億円)



四半期別 営業損益または事業損益 (億円)



## 事業環境・受注動向

- 米国（二輪）
  - 小売市場は堅調に推移しているなかで、当社のシェアが拡大している
  - 販売店在庫が充足し、各社とも販売促進を強化している
- 米国（四輪）
  - コロナ特需の反動で一時的に減少傾向がみられたものの、足元では回復基調に戻りつつあり、引き続き市場成長を見込む
  - ユーティリティモデルが堅調な一方、レクリエーションモデルは軟調に推移
- 欧州
  - 小売市場はコロナ禍を上回る水準まで回復
  - 当社の供給力の回復に伴い、シェアも回復傾向
- 東南アジア
  - スポーツセグメントは軟調に推移
- サプライチェーン
  - 部品の供給不足による生産への影響が継続

## 重点施策と具体的な取り組み

- ✓ **市場動向に応じた製品の供給**
  - 継続的な新機種への投入
  - 販売状況に応じて、機動的に生産・販売計画を変更
  - 適正な在庫水準の維持
- ✓ **四輪ビジネスの拡大、脱炭素・電動化対応**
  - 製品競争力強化に向けた開発投資
  - 米国工場能力増強、メキシコ新工場の稼働開始へ準備を継続
  - 電動・ハイブリッドモデルの開発
  - 電動化に加え、あらゆる選択肢を通じて、カーボンニュートラル社会の実現に貢献
- ✓ **DXを通じた業務改革の推進**
  - デジタル化によるアジャイルな経営の実現
  - デジタル技術活用による開発期間の短縮と効率化
- ✓ **FCFの確保**
  - 将来の投資に向けてFCFの安定確保を目指す



車体、エンジンともに新設計のRIDGE/RIDGE XR シリーズ



世界初※のストロングハイブリッドモーターサイクル  
Ninja 7 Hybrid / Z7 Hybrid

※当社調べ